

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

祝優勝

大宜味中学校男子ソフトテニス部

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



第52回當山堅一杯沖縄県中学校ソフトテニス大会

11月9日（土）、10日（日）、沖縄県総合運動公園庭球場において第52回當山堅一杯沖縄県中学校ソフトテニス大会が開催され、代表男子団体の部で大宜味中学校男子ソフトテニス部が優勝に輝き、九州大会出場を決めました。

2年生1名、1年生6名で活動している大宜味中学校男子ソフトテニス部。キャプテンの砂川凜空さんを筆頭に明るく和気あいあいとしたメンバーです。

サーブを意識し、練習に励んできた部員たち。試合では声が枯れるくらいに声出しと応援に力を入れ、一つ一つの動きを大切に勝ち進みました。大宜味中、鏡原中、小禄中、玉城中の計4校の対戦となった決勝リーグでは小禄中との試合が一番きつかったと口々に話し試合をふり返りました。

2勝1敗となった決勝リーグは直接対決で玉城中に勝利した大宜味中が見事優勝を決めました。

凜空さんは「優勝したことはとても嬉しい。九州大会では一つ一つのミスをなくし、まずはリーグ戦にあがりたい」と意気込み、1年生の高良凌平さんは「『自分のやることをしっかりやる』をモットーに試合に挑みたい」と話しました。

大宜味中男子ソフトテニス部は12月26日、27日に熊本県で開催される「第39回九州ジュニア選抜中学生インドアソフトテニス大会」に沖縄県代表として出場します。

中学生の活躍を村民挙げて応援していきましょう！

楽しむ能「楽」プロジェクト！ 芭蕉布の里 能楽公演 in 大宜味小中学校



11月14日（木）、大宜味小・中学校体育館において楽しむ能「楽」（のうがく）プロジェクト 芭蕉布の里 能楽公演 in 大宜味小・中学校が開催されました。

この日、村内外から400名以上の観客が訪れ能楽の世界を楽しみました。最初に行われた 演目は「芭蕉」。芭蕉の精が舞を舞いながら仏教の教えを説くもの。芭蕉の着物に身を包み優雅に舞う芭蕉の精の姿に見られました。狂言の「仏師」は御仏を買い求めに都にきた田舎者を詐欺師が仏師を偽りだまそうとする話。二人の掛け合いと動きがおかしく笑いに包まれました。最後の演目は「土蜘蛛」土蜘蛛を退治する話。放たれる蜘蛛の糸の演舞は圧巻で会場がわきました。

今回の能楽で初めて能を見る方も多く「初めて見たけれど楽しかった」、「素晴らしかった」などの声が挙がりました。招待された子どもたちも蜘蛛の糸を集めに走るなど各々で楽しめた能楽公演となりました。

第11回 特選 沖縄の伝統芸能 明日へつなぐ島々の祈り



11月24日（日）、第11回「特選 おきなわの伝統芸能 明日へつなぐ島々の祈り」が開催され、国立劇場おきなわ大劇場を舞台に大宜味村謝名城区の「七福神」が公演されました。

この公演は沖縄各地に伝わる伝統芸能などを一堂に集め舞台上で上演することにより、地域の伝統芸能などに対する関心を高め、その価値を見直す機会を提供し、地域文化の継承・発展に寄与することを目的に行われるもので、毎年県内各地から5つの団体が選定されます。

過去にも本村からは第4回（2016年）に塩屋区の「舞方・総踊り（塩屋のウングミ）」が出演しており、今回は8年ぶり2回目の出演となります。口上の紹介の後、神々たちが時に勇ましく、優雅に、陽気に踊り、最後のちらしでは全員で楽しく踊り、会場をわかせました。

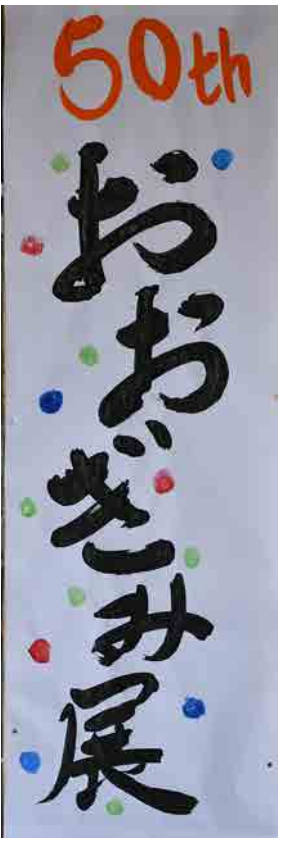
誰もがアーティスト！芸術の祭典 第50回おおぎみ展開催

11月2日（土）～4日（月）、大宜味村農村環境改善センターにおいて第50回おおぎみ展が開催されました。

久々に改善センターで行われたおおぎみ展。今年は50回の開催を記念して、芭蕉布展、来年で100歳を迎える大宜味村役場旧庁舎展も同時に開催されました。

3日間で419名が来場し会場では村内の子どもから大人まで、絵画や陶器、写真、書道など多岐にわたり個人206点、7団体の作品が出展され、訪れた方たちの目を楽しませました。

また、3日には芸術体験講座「自由に絵を描こう！お絵かき講座」3日、4日両日には「木の小物を作ってみよう」が行われ、お客さんも一緒に芸術に触れることができました。



読書の秋、のんびり本を読んで癒されよう♪ 空飛ぶ図書館開催

11月2日（土）、旧大宜味小学校つどい室において「大宜味村 空飛ぶ図書館」が開催されました。

年に一度行われるこのイベントでは沖縄県立図書館から料理や健康、沖縄やアメリカについての本など様々なジャンル647冊の本を用意。絵本もたくさんあり、青山学院大学生おすすめの本も貸し出されました。この日、子どもから大人までのべ47名が来場し読書の秋を堪能しました。

また、青山学院大学生による大宜味の昔話の読み聞かせやおもちやづくりも行われました。楽しいお話やかわいいブレスレットに訪れた人たちも大満足の空飛ぶ図書館となりました。



一人一人がしっかりと行動 地震・津波避難訓練



11月6日（水）に大宜味小・中学校、8日（金）におおぎみこども園において地震・津波避難訓練が行われました。小・中学生は避難階段を使い、小学生は（有）みのりの広場まで、中学生は結の浜展望台まで避難。こども園では訓練放送の後、幼児部の園児たちが園の裏から結の浜展望台まで歩いて避難しました（保育部は園バスで移動）。みのりに避難した大宜味小の児童たちは名護署の仲宗根さんから「日頃から鍛えて体力をつける」、「先生の話をしっかり聞いて行動する」、「避難の時はふざけない、友だちの行動を妨げるようなことはしないで友だちを助ける気持ち」が大事だと教わりました。

図書室情報

No.64 2024年（令和6年）12月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

県立図書館本コーナーより

借りることができるのは **12月27日（金）まで！！**

入れ替えのため、年内で貸出終了の本から一部紹介します。

- 『ゆるく身につく家事のきほん』おそうじペコ / 著
- 『子どもにいいこと大全』主婦の友社 / 編
- 『冥界からの電話』佐藤愛子 / 著 ●『紙の鼻』貫井徳郎 / 著
- 『夜がどれほど暗くても』中山七里 / 著 ・・他約 300 冊あり



利用状況累計

- 来室者数…のべ 3,682 人
- 貸出冊数…6,155 冊
- 登録者数…181 人

11月の統計（11/26まで）

- 来室者数…のべ 47 人
- 貸出冊数…50 冊
- 現在の蔵書数…8,504 冊

12月図書室カレンダー 閉室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

2024.12.28(土)～2025.1.5(日)

年末年始は閉まっています。

年明け 2025.1.6(月)より開室

2期目決定!! 宮城政信教育長再任

この度、宮城政信教育長が再任され、11月8日（金）大宜味村役場村長室において辞令交付式が行われました。

昨年の7月より就任した宮城教育長は前米須邦雄教育長の残りの任期を終え、11月8日より2期目に入ります。

任期は2024年11月8日より2027年11月7日までの3年間となります。これから3年間よろしくお願いいたします。

祝！県民大会優勝!! 国頭郡体協ゴルフ部

11月15日（金）、沖縄カントリークラブにおいて、第76回沖縄県民大会ゴルフ競技が開催され、14市郡より180名が出場。団体戦で国頭郡が見事優勝を収めました。

各チーム10名までの参加とし、上位8名のスコアで採点します。大宜味村からは塩屋区の宮城俊二さんが郡代表として出場し、77打の好成績でチームの優勝に貢献しました。

監督の宮城一博さんは「今回の優勝は国頭郡の町村が一つとなってとれた栄冠。そこに携われたことに感謝したい。また、県民大会制覇に大宜味村の選手がいることは本村のゴルフ競技の発展にも寄与してくるものである」と喜びました。優勝おめでとうございます！！



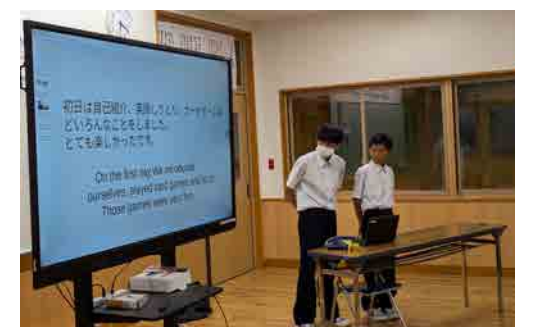
令和6年度「海外短期留学」及び「まちなか留学」合同報告会

10月31日（木）、「海外短期留学」及び「まちなか留学」合同報告会が大宜味中学校多目的教室で行われました。

この報告会では、7月11日から7月31日にかけて実施しました「海外短期留学」に参加の大宜味中学校1年生の前田泰那さん、2年生の大湾心晴さん、名護高等学校3年生の藤田雫さんの計3名、8月9日～11日の2泊3日で実施しました「まちなか留学」に参加の大宜味中学校1年生の平良太誠さん、當山耀希さん、2年生の與那城雄さん、神里陽菜乃さん、玉元花芽さんの計5名より留学で学んできたことや感じたことを発表し、あらためて留学生生活を振り返りました。

発表の際は生徒全員英語でスピーチし、報告会に参加した方にも分かりやすいようパソコン、スクリーンを使って写真などを使い工夫して発表を行いました。生徒からは「この留学生生活を通して、英語や海外の文化を学ぶことができ、貴重な体験ができた」との報告がありました。

「海外短期留学」及び「まちなか留学」に参加された生徒にとって貴重な留学体験をあらためて振り返り、有意義な報告会となりました。



天野鍛助日記ヲ読ム 9（最終回）（163 号つづき）



娘家族と共に
左端天野（宮城倉栄自伝より）

饒波出身の天野鍛助（明治 16－昭和 41）は、元々は教職にあったが 1920（大正 9）年、初の民選村長に推され三期を務めた。1931（昭和 6）年に起った村政革新運動では平良真順と共にやり玉にあげられ、昭和 7 年に村長の座を退いたが、その後も村会議員や県議などを歴任し、戦後は三村の悲願であった高等学校設置運動の先頭に立ち、地元饒波に辺士名高校を誘致するなど、本村の発展に大きく寄与したばかりでなく、一線を退いた後

も、大宜味村長生会（後の老人クラブ）初代会長として老人福祉に傾注した。

その生きざまには、自らのおかれた場所において、ものごとに全力で取り組む勤勉で几帳面な性分が表れている。83 歳で永眠する前年の昭和 40 年までつけていた日記から、最晩年の様子を抜き出してみた。

子や孫、親戚との交流に心躍らせる穏やかな暮らしぶりものの中にも、常に世情にアンテナを張り、地域の重鎮として頼られていた様子が読み取れる。また、村長在任中は 3 日にあらず酒座を渡り歩いた天野だが、この頃は「酔っ払いが多く早く帰った」など、酒席から距離を取っている様子も窺える。

天野鍛助日記 昭和四〇年

○一月一日 朝信夫婦が「みやげもの」を携えて見へた。政治話を語り合ふて愉快であった。黒木一本、態々（わざわざ）持って来て呉れた

○一月十五日 成人の日の駅伝競技を見に行つた。村の成人一四〇人の内、村内在住者は十五人

○二月二八日 北部長生会。老齡年金運動上京員の旅費の件で来年度の予算編成には慎重に取り扱へと絶叫した（北部丈が陳情するのでなく縣一円でせよとの意味）閉会後、今帰仁の吉田君が「其通りだ」と盛んに握手された

○四月九日 電灯、施設終了、今晚電灯付いた

○五月七日 支那行、饒波より十一名の戸籍簿を調べた

○五月十二日 八時半出発十一時前那覇着。文林堂に立寄り従弟を訪ね親戚話で花が咲いた。中食を饗され辞去。第三回老人クラブ大会が西部門会館で開会。主席、議長、南口代理の祝賀詞があつて閉会、餘誉（興）に移り五時頃辞去。繁多川に行つて宿（泊）つた。孝子宅にも行つて孫とも会つた

○五月十五日 アブシバレー節句、雨天の為、事務所で会合、酔払いが多く早く歸つた

○五月十九日 兼久農協長と饒波役員と自分と打合せ。電灯施設の件

○五月二七日 浜床屋で散髪、辺士名、ちよ宅に行つて大兼久へ直行、正子宅で夕食、兼久農協へ。村内の農協を村一組合にすることに決定、十時過帰宅

○六月一日 好天気であつたから宮城島橋側の朝信の工事見に「バス」で塩屋まで行つたら豪雨で引返した

○六月十五日 ブラジルの一郎、五月十一日長男出生、昭男と命名したとの通知が鉄夫宅より電話を受く

○六月二十日 「父の日」に付きちよ、正、孫を連れて料理を携へて満腹。那覇の鉄夫宅にも電話をかけて「父の日」を喜んだ

○七月六日 全国区の参議院選開票に付、朝よりラジオ放送を聞いた。

○七月十二日 北部長生会。六五年度決算原案、六六年度予算原案承認。分担金は半額八月末日、半額二月末日。老齡福祉年金支給陳情のため全疏の老人会より出席せしむること

○十一月十五日 立法院議員選挙開票 民主党十九、社大七、人民一、□□三、社会二 計三二人

○十一月二十四日 辺士名行 ナイス床屋で理髪、辺士名校時代の生徒で料金も取らず又、ポケットに五十仙も入れてあつた

○十二月八日 ハワイの真珠湾、日本軍が攻撃した日、其為に沖縄は死地におちいった



村史編さんだより

第 164 号 2024 年 12 月 1 日 大宜味村村史編纂係 44-3009

第 3 回「通史編」・第 1 回「資料編」専門部会開催

大宜味村史「通史編」及び「資料編」専門部会を 11 月 18 日（月）に開催しました。「資料編」専門部会は第 1 回目の会議ということで、委嘱状交付と部会長、副部会長の互選等を行い、以下の通り決定しました。

部会長：米須邦雄 副部会長：仲原弘哲

委員：前田國男、平良次子、宮城樹正

村史編纂計画は今年度中で終了するため、委員の任期は短い期間ではありますが、専門的なアドバイスをいただきながら、力を合わせて編集を進めていきたいと思ひます。



会議の様子

新大宜味村史編さん基本計画

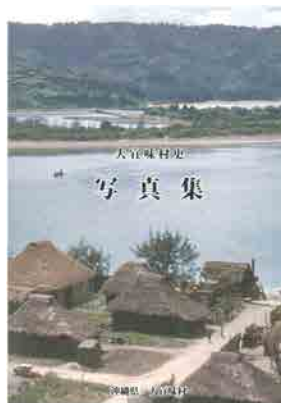
●「通史編」の編纂・発行 先史、古代、近世、近代、戦後等に加え昭和 54 年に発行された旧村史以降現在までの事象について総合的に編纂・発行する。

●「資料編」の編纂・発行 村史編纂にあたって資料の収集は極めて重要なことであり、村史編纂の基本になるのは膨大な数量の史資料である。資料は単なる資料ではなく、資料編として各編、あるいは総合的に編纂する必要がある。

～発刊済村史の紹介～

大宜味村史では平成 26 年から令和 4 年にかけて各編ごとに 8 冊の村史を発刊してきました。これらの村史は図書室で閲覧・貸出のほか、販売も行っています。村の歴史に興味のある方はぜひご利用下さい♪

- シマジマ・ビジュアル版 わーけーシマの宝物
平成 26（2014）年 3 月 1000 円
- 戦争証言集 渡し番一語り継ぐ戦場の記憶一
平成 27（2015）年 3 月 ※非売品（希望者に譲渡）
- シマジマ本編
平成 28（2016）年 3 月 3000 円
- 移民・出稼ぎ編
平成 29（2017）年 3 月 3000 円
- 民俗編
平成 30（2018）年 3 月 4000 円
- 言語編
令和 2（2020）年 3 月 3000 円
- 人と自然編
令和 4（2022）年 3 月 4000 円
- 写真集
令和 4（2022）年 12 月 3000 円





政信教育長のあじま～コラム～

「人前で表現する力」

12月1日（日）の小学校きらめき発表会を皮切りに、こども園生活発表会、中学校くがに一発表会と発表会が続きます。村民の皆さんには学芸会という言葉になじみが深いかと思いますが、いずれも以前の学芸会に相当する活動です。ね

らいは大勢の前で自分の思いや考えあるいは役割を、堂々と表現する力をつけることにあります。

沖縄県PTA連合会の大きな行事に「小中学校童話・お話・意見発表大会」があります。終戦間もない頃の沖縄の多くの子供たちは方言を使い、標準語が使えず、当然、人前で話すことが苦手だった、という子供たちの現状を憂えた、当時の沖縄教職員会の指導の下で、学校の先生方が一丸となって沖縄の子供たちに「語彙力をつけること」「発表力をつけること」「表現力を高めること」等を目標として、1949年に始まった歴史のある大会です。その役目を終えたのでしょうか、今年が最後の大会となったようです。

事実、本村の子供たちも多くの場面で表現の機会があり、確実に人前で堂々と表現する力がついています。今年も上記のそれぞれの発表会の中で、どのような頑張りをを見せてくれるのか楽しみです。さて、皆さんが子供時代の学芸会はどのようなものだったのでしょうか？私が小中学校の頃はというと必ず主役がいて、一部の子がかなり目立っていました。しかし、最近は何の子もほぼ平等に出番があります。「一人の賢者よりも多数の普通の方が賢いし、鋭い一人の知恵より平均的な多数の知恵の方が上だ」とは世界的な企業グーグル会長であったエリック氏の言葉です。

また、日本でも同じようにトヨタ方式というものがあります。トヨタでは役員、管理職から一般派遣社員まで全員が毎日「提案書」を書き、一人一人の意見が経営に生かされるのだそうです。

集団は一人の力より全員で少しの力を出し合って伸びていくものだと思います。学校教育はまさしくそうでなければならないと思います。

今月の生きもの

オキナワトカゲ：トカゲ科

おはようございます！私たち、オキナワトカゲです。

冬は寒いので朝、日向ぼっこをして体を温めてから活動しています。子どもの頃は縞模様の体をしていて、しっぽの先が青くてきれいなんだけど、大人になったら全身うす茶色っぽくなります。大人のメスは縞模様が残る感じ。オスはメスより頭が大きくて頬の横から体の側面が赤っぽいので見分けられるはず。

海岸林から平地に住んでいるので、朝の散歩中に集落内で私たちに会えるかも。一緒に日向ぼっこしましょ♪



メス



オス

撮影：村山望

🎄12月の行事予定🎄

1日（日）中体連地区新人④

（小）きらめき発表会

2日（月）区長会 （小）振替休日

7日（土）（園）生活発表会 星空観察会

学校総合文化祭 ～8日

13日（金）（中）クガニー発表会

（小）学級保護者会

12月7日



クリスマスツリーの日

17日（火）（中）三者面談 ～19日

18日（水）（園）学級保護者会

20日（金）交通安全シークワサー作戦

25日（水）2学期終業式

26日（木）定例教育委員会会議

27日（金）官公庁仕事納め

31日（火）大晦日

なかなか冬になりきれない今日この頃…。なのにもう年末。季節と気候が合いません。寒いのは苦手ですが、冬の朝の空気がキンとした感じは好きだったな。年々冬が来るのが遅くなっている気がします。早く来て～寒い冬！